

「JAXA 第 1 回宇宙種子実験(アサガオ／ミヤコグサ)」専門委員のプロフィール



● 青木 俊夫先生

日本大学生物資源科学部准教授。専門は植物機能化学。

略歴:

東京大学教養学部基礎科学科第一、同大学院理学系研究科相関理化学専攻修士課程および博士課程を修了後、1991-1993 年、ヒューマンサイエンス振興財団流動研究員として、厚生省国立衛生試験所筑波薬用植物栽培試験場(当時)でナス科薬用植物の組織培養を用いたアルカロイド生産技術開発に従事。1993-1996 年、岩手生物工学研究センターでイネのジベレリン感受性突然変異体の解析を行う。1996 年日本大学生物資源科学部に異動し現在に至る。

研究内容:

日大着任時よりマメ科モデル植物ミヤコグサを研究材料に取り入れ、フラボノイド・トリテルペノイドなど代謝生合成遺伝子の構造・機能の解析、およびミヤコグサ形質転換法の開発とそれを利用したアクティベーションタギングを行う。現在の関心は、共生窒素固定・ストレス応答において役割を果たす代謝成分の同定と機能解明。また、同じ頃から国内の研究者と協力しながらミヤコグサ野生系統の組織的収集を始め、2003 年よりナショナルバイオリソースプロジェクト「ミヤコグサ・ダイズ」にサブ機関担当者として参画。研究者コミュニティとバイオリソースプロジェクトとの連携をはかっている。



● **明石 良先生**

宮崎大学フロンティア科学実験総合センター実験支援部門 遺伝資源分野 教授
宮崎大学 農学部 生物環境科学科(兼任)

略歴:

宮崎大学農学部草地学科卒業後、同大学院農学研究科修士課程および鹿児島大学連合農学研究科博士課程を修了し、平成3年3月に農学博士を授与。同年4月から日本学術振興会特別研究員を経て、平成5年4月に宮崎大学助手に着任、平成11年6月に同大学助教授、平成18年5月に同大学フロンティア科学実験総合センター教授。

研究内容:

牧草の品質向上のための分子育種、シバ属の遺伝資源解析、マメ科草種の遺伝資源の収集とその評価などの植物の遺伝資源と育種学および植物バイオテクノロジー研究に従事して、平成15年から文部科学省のバイオリソースプロジェクトのミヤコグサ・ダイズの中核機関として選ばれ、植物の遺伝資源の収集・保存・評価に関わる研究・教育を展開している。



● 阿部 知子先生

理化学研究所仁科加速器研究センター生物照射チーム「チームリーダー」

略歴:

東北大学大学院農学研究科修了 農学博士、日本学術振興会特別研究員、理化学研究所基礎科学特別研究員を経て、理化学研究所研究員。2008年より現職。

研究内容:

専門は加速器生物学。

<プロジェクトへの一言>

まだまだ私たちの分らないことは沢山あるよ。そんな何かを発見して、私たちに驚かせて。一緒に研究を始めよう。

● 市田 裕之先生

明治大学農学部 植物病理学研究室「日本学術振興会 特別研究員(SPD)」

略歴:

千葉大学大学院自然科学研究科 博士後期課程修了。博士(農学)。理化学研究所仁科加速器研究センター リサーチアソシエイトを経て、現職。

研究内容:

現在はミヤコグサと根粒菌の DNA メチル化を介した共生制御機構の解明を目指し、根粒菌ゲノムの DNA アデニンメチル化について研究を進めている。



● **小野 道之先生**

筑波大学 遺伝子実験センター 大学院 生命環境科学研究科, 教育研究科(兼) 生命環境学群, 生物学類 「准教授」 専門は植物生理学。

略歴:

筑波大学生物学類、同大学院博士課程生物科学研究科を経て、アサガオの研究で博士(理学)。信州大学繊維学部応用生物科学科助手、秋田県立生物工学研究所講師・助教授、秋田県立大学生物資源科学部助教授を経て、筑波大学生物科学系に異動し現在に至る。

研究内容:

大学院時代よりアサガオが短日で花芽を形成する機構(光周性)に興味を持ち、この機構に関係する遺伝子を研究している。遺伝子の構造と機能の解析を行うため、アサガオの遺伝子組換え植物をつくる方法を開発。短日植物と長日植物の違いに迫る研究などを展開中である。また、共同研究として、遺伝子組換えを用いてアサガオの花の形や色を変え、江戸時代から伝わる遺伝子突然変異である変化朝顔に現代的な手法で迫る実験を行う。2007 年から文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト「アサガオ」の運営委員長である。



● 仁田坂 英二先生

九州大学大学院理学研究院生物科学部門「助教」

略歴:

1962 年大分県生まれ。1985 年九州大学理学部生物学科卒業、1990 年九州大学医学系大学院分子生命科学修了後(理学博士)、米国ハーバード大学博士研究員(ポストドクトラルフェロー)を経て、1993 年より現職。1997-2000 年に科学技術振興事業団さきがけ研究 21 研究員、2002 年から文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP アサガオ)の中核機関代表もつとめている。

研究内容:

アサガオを用いて、主に植物器官の形態形成、およびトランスポゾン(動く遺伝子)の構造や転移するしくみについての研究を行っている。ナショナルバイオリソースプロジェクトではアサガオの系統保存事業全般に携わっており、1300 系統以上に及ぶアサガオの収集・保存および種子の提供を行っている。

● 橋口 正嗣先生

宮崎大学フロンティア科学実験総合センター 実験支援部門 遺伝資源分野 産学官連携研究員

略歴:

宮崎大学農学部動物生産学科卒業、同大学大学院農学研究科修士課程を経て鹿児島大学大学院連合農学研究科博士課程を単位取得退学後、2007 年 3 月に博士(農学)を取得。2004-2006 年 4 月まで宮崎大学農学部産学官連携研究員。同年 5 月から同大学フロンティア科学実験総合センターに移動し現在に至る。

研究内容:

植物遺伝資源学および育種学。シバ属とミヤコグサ属における遺伝資源の収集・保存とそれらの特性評価。

● **林 誠先生**

独立行政法人 農業生物資源研究所 植物科学研究領域 「耐環境ストレス研究ユニット長」



● **林 依子先生**

理化学研究所 仁科加速器研究センター 生物照射チーム 「チームスタッフ」

略歴:

北海道大学大学院獣医学研究科修士課程修了。

研究内容:

2002 年から現チームにて主にイネを用いた加速器生物学に取り組む。

＜プロジェクトへの一言＞

理研あさがおクラブには、重イオンビームを照射した種を育ててくれている皆さんから報告が集まってきた。このプロジェクトを通して、より多くの報告がよせられることを期待している。

(アイウエオ順)